

- (1面)
- ・県営農地整備事業「南般若地区」完工式
 - ・小学4年生へ向けた出前授業の開催
 - ・チューリップのネット植付栽培機について
 - ・スマート田んぼダム実証事業の実施状況について
- (2面)
- ・砺波土地改良協議会 要請活動
 - ・横田副知事現地視察
 - ・富山県多面的機能支払推進研修会
 - ・南砺福野高校生の建設現場見学会
 - ・「ワクワクとやま」むらづくり推進大会の開催

となみ野水と里通信

第39号

令和3年11月30日(火)

富山県砺波農林振興センター
 農業農村整備広報・広聴連絡会議
 〒939-1386 砺波市幸町1番7号
 電話(0763)32-8124【指導課】

県営農地整備事業「南般若地区」完工式

県営農地整備事業「南般若地区」の完工式が11月3日(水・祝)に、南砺市農林水産部長、夏野市長、米原県議会議員、瘡師県議会議員、島崎砺波市市議会議員をはじめ地元関係者、工事関係者など多数出席のもとに執り行われました。

本地区は、砺波平野の北東側に位置し、昭和43年～昭和46年にかけて30a区画の基盤整備がなされましたが、整備後約50年の経過とともに老朽化によって施設の維持管理に多大な労力を要していました。そうした中で、平成26年度に「南般若地区」が着工し、9,879mの用排水路整備、1.6haの区画整理、3.2haの客土を進めてきました。この事業を機に地区内農地の集積率は向上し、今後より一層活力に満ちた農業農村づくりが期待されます。



←経営体育成基盤整備事業 南般若地区推進委員会 松永委員長 ご挨拶

小学4年生へ向けた出前授業の開催

砺波市の庄南小学校と鷹栖小学校の4年生を対象に、社会科学授業の一環として、庄川合口堰堤現地見学会と、庄川合口堰堤と水利用等に関する出前授業を行いました。合口堰堤現地見学会は庄川沿岸用水土地改良区連合が説明を行い、合口堰堤の水を利用し発電している新明発電所の現地見学会は庄西用水土地改良区が説明を行い、学校での授業は砺波農林が行いました。

本活動により、自分たちの地域において、合口堰堤が重要な農業施設であることを認識し、理解を深める良い機会となったことを期待しています。



R3.11.1 合口堰堤現地見学会



チューリップのネット植付栽培機について

10月27、28日に南砺市百町(旧福野町)地内において、スマート農機の実証として、チューリップの植付栽培機の実演が行われました。農機はGPSを利用して自動走行が可能であり、球根をネットですりつぶし、上下から挟み込んだ形で植付け、収穫時はネットを巻き取るだけで良いというものでした。

従来、チューリップの植付けは、機械で土に穴を開け、人の手で球根を植えるという手間のかかる作業であり、収穫についても、機械で球根を掘り起こした後、人の手で回収するという方法を取っています。それが本栽培機により、人手を大きく削減できる可能性を含んでいます。今後は試行を重ね、機械をより良くしていくとのことでした。



チューリップ植付栽培機

スマート田んぼダム実証事業の実施状況について

今年度より実施している「スマート田んぼダム実証事業」では、9月22日までに全11組の自動給排水栓の設置が完了し、観測を続けています。また、9月17日(金)には本県及び他7県を含む本事業関係者に向けたWEB会議も行われました。会議では、対象ほ場(対策を講じない田)と従来型田んぼダムほ場(排水柵に木の堰板を設置する田)に比べて、スマート田んぼダムほ場は自動給排水栓によって排水路の流量を調整できているというデータが示されました。富山県では、雪が降る前の12月まで観測を続け、そのデータを基に、国が年度内に結果を取りまとめの予定です。



雨水貯留中のスマート田んぼダム

自動排水栓

↓11/17(水)の北日本新聞にも掲載されました。

庄川合口堰堤 役割を理解

砺波市庄南小学校、同校で県営農林振興センターの職員から、同市庄川町にある庄川合口堰堤の歴史や役割について聞いた。写真、同校4年生は社会科学や総合的な学習の一環で、校舎の近くを流れる庄川の魅力を学んでいる。

この日は同センター技術者の横井一成さんが講師を務め、同堰が1939年に完成したことや、9カ所あった取水口がダムに集まり農業用水に水を供給していることなどを説明した。19日に現地を訪れ、庄川沿岸用水土地改良区連合の職員から説明を受ける。同校近くの小水力発電施設「新明発電所」も見学する。



R3.11.18 鷹栖小学校授業



R3.11.19 新明発電所現地見学会



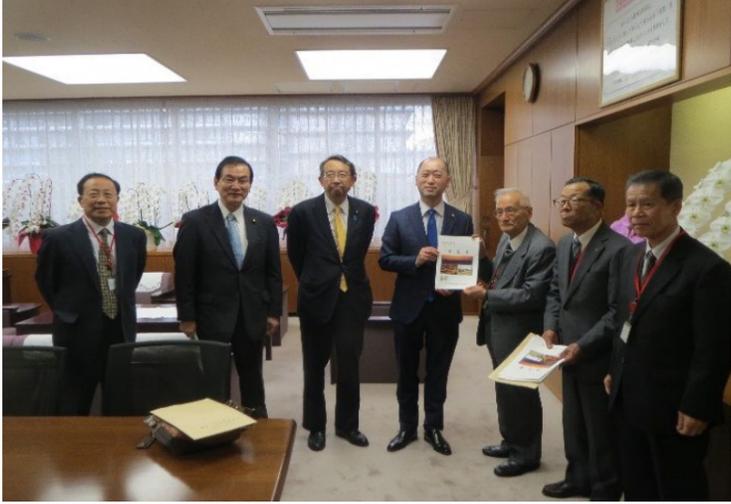
R3.11.16 庄南小学校授業



砺波土地改良協議会 要請活動

砺波土地改良協議会4名(岩田会長、紫藤副会長、吉田理事、松岡事務局長)が、11月8日(月)に農林水産省を訪問し、橋本議員及び堂谷参院議員同行のもと、宮崎雅夫農林水産省政務官に令和4年度農業農村整備事業の予算確保等の要請活動を行いました。

要望書を手交した後、農地の大区画化やスマート農業の推進、ストマネ庄西地区及び国営付帯県営庄川左岸地区の事業促進、土地改良区の体制強化の支援について要請。岩田会長より、来年2月に南砺市内の5土地改良区が合併し、県内最大規模の土地改良区が誕生するため、合併を契機として、特に整備要望が多い農地整備事業の事業促進と職員の人材育成・確保のための公的支援の要望に対し、宮崎政務官より「まずは令和4年度の予算確保に努め、支援についても今後知恵を出していきたい」とのコメントがありました。



横田副知事現地視察

農業農村整備事業等関係施設の横田副知事現地視察が、10月26日(火)に砺波・高岡管内で行われ、当管内では、国営総合農地防災事業「庄川左岸地区」で造成した岸渡洪水調整池及び地すべり対策事業「峰2期地区」の対策状況を視察されました。

岸渡洪水調整池では、庄川左岸地区における用水及び防災対策の全体概要と整備状況、洪水調整池のしくみや事業効果を説明し、溢水被害軽減の効果等の質疑に対し、熱心にメモを取っておられました。

また、峰2期地区では、アンカー工事の進捗状況と今後の予定、地すべりへの監視態勢を説明しました。現場での説明中、現在避難中の倉田氏とお会いし、対策工事の早期完成の要望を受け、横田副知事からは、避難生活へのねぎらいの言葉と「対策完了に向け早期に対応していきたい」と語られました。



岸渡洪水調整池



地すべり峰2期

南砺福野高校生の建設現場見学会

11月8日(月)に一般社団法人富山県建設業協会主催の「高校生の建設現場見学会」が行われました。建設業の役割や重要性等を高校生に知ってもらうことを目的に行われた本見学会には、富山県立南砺福野高等学校の農業環境科の生徒33名が参加しました。

当センターからは、「ほ場整備 石黒東部地区ほ場整備第18工区工事」を見学現場とし、ほ場整備事業の概要や効果、施工の流れ等について説明を行いました。当地区では、ほ場の大区画化を中心に用排水路、道路等の整備をしており、高校生の皆さんには整備中の大きなほ場を近くから見てもらうことができました。

また施工業者からは、ドローンを使用した測量についての話や、技術者を目指す高校生へのメッセージをいただきました。この見学会が高校生の建設業界へのイメージアップや入職促進に繋がればと思います。



「ワクワクとやま」むらづくり推進大会の開催

11月1日(月)富山県民会館ホールにて「ワクワクとやま」むらづくり推進大会が開催されました。

本大会の開催趣旨は、農業・農村の振興と多面的機能の発揮を図るため、多面的機能支払制度や中間地域等直接支払制度等の活動組織関係者が参加し、各種取組の必要性や成果を県民の皆さんに広くお知らせするとともに、活動指導者の情報交換を行うものです。

大会では、県内活動組織6団体が農村振興・環境保全優良活動表彰を受けました。砺波管内からは、田んぼダム等の取組みが評価された「江波地区環境保全推進委員会(砺波市)」が受賞されました。



富山県多面的機能支払推進研修会

10月18日(月)に富山産業展示館(富山テクノホール)にて富山県多面的機能支払推進研修会が開催されました。

研修会では講演2件「農業用水路の補修における留意点」、「防草シートを用いた効果的な雑草対策」のほか、各種団体等によるコンクリート水路補修材や防草シート、ICT水門、草刈機等の展示が行われました。

研修会では講演2件「農業用水路の補修における留意点」、「防草シートを用いた効果的な雑草対策」のほか、各種団体等によるコンクリート水路補修材や防草シート、ICT水門、草刈機等の展示が行われました。



編集後記

今年の夏は、長雨や猛暑に加え、新型コロナウイルス第五波といった辛いことが多々あり、世間では自粛の日々だったと思います。

新型コロナウイルスの収束傾向に伴い、当たり前の日常が少しずつ戻りつつあります。この夏を満喫できなかったみなさんには、今後充実した日常生活を過ごしていただきたいと思います。



富山県砺波農林振興センター
〒924-1669 砺波市西町1-1(砺波総合庁舎内)



☆砺波農林振興センター

管内の情報をホームページで発信中!!

<http://www.pref.toyama.jp/branches/1633>

ブログやっています。
“とやま水と土探訪ブログ”で検索を!
<http://facebook.com/toyama.nousonsebi>

